

# 研究開発に関する調査

2025 年 12 月 3 日  
慶應義塾大学商学部  
教授 濱岡豊

調査の趣旨
このアンケートは、貴社における研究開発(基礎研究、応用研究、生産技術なども含みます)について調査します。 ご回答頂いた結果は、統計的なデータとして処理しますので、皆様にご迷惑をおかけするようなことはございません。 なお、最終報告書は今年度末にまとめる予定です。ご希望の方には、その概要を送付させていただきます(このアンケートの最後にご希望を記入していただく欄があります)。 お忙しいとは存じますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。
回答上の注意
・あらかじめ用意した選択肢を挙げてありますので、あてはまるところに○をつけてください。 ・( )があるところには、できるだけ具体的にご記入下さい。 ・お答えいただける項目のみのご回答でも構いません。 ・測定の精度を高めるために、類似した項目が複数設定されています。 ・記入は 20 分程度で終わると思います。  ・お忙しいところ大変恐縮ですが、同封の封筒にて <b>2026 年 1 月 16 日</b> までに投函いただきたく存じます。 ・不明な点につきましては、下記までご連絡下さるようお願いいたします。 〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45 慶應義塾大学商学部 濱岡研究室 <a href="mailto:hamaoka@fbc.keio.ac.jp">hamaoka@fbc.keio.ac.jp</a> <a href="https://www.fbc.keio.ac.jp/~hamaoka/">https://www.fbc.keio.ac.jp/~hamaoka/</a> 電話 (代表)03-3453-4511(内線 23136) FAX 03-5427-1578(研究室共同)

まず、あなたご自身についてお答え下さい。 (当方からのあて名の方がお答え頂く場合は、調査票表紙右上の番号で管理していますので、記入不要です。)
--

貴社名	
部署・役職	
氏名	

Q1 貴社が事業展開されている業種、すべてに○をつけてください。

- |               |              |            |
|---------------|--------------|------------|
| 1.食品          | 14.自動車・自動車部品 | 27.不動産     |
| 2.繊維          | 15.その他輸送機器   | 28.鉄道・バス   |
| 3.パルプ・紙       | 16.精密機器      | 29.陸運      |
| 4.化学工業        | 17.その他製造業    | 30.海運      |
| 5.医薬品         | 18.水産        | 31.空運      |
| 6.石油          | 19.鉱業        | 32.倉庫・運輸関連 |
| 7.ゴム          | 20.建設        | 33.通信      |
| 8.窯業          | 21.商社        | 34.電力      |
| 9.鉄鋼業         | 22.小売        | 35.ガス      |
| 10.非鉄金属及び金属製品 | 23.銀行        | 36.サービス業   |
| 11.機械         | 24.証券        | 37.その他     |
| 12.電気機器       | 25.保険        |            |
| 13.造船         | 26.その他金融業    |            |

Q2 貴社の製品や技術戦略には、どのような特徴があるでしょうか？ 以下の項目それぞれについて、あてはまるところに○をつけてください。

	まったく そうでは ない	そうで はない	どちらとも いえない	そうで ある	まったく そうで ある
自社でコアとなる技術を開発している	1	2	3	4	5
複数の製品で共通に使えるプラットフォームを開発する	1	2	3	4	5
多様な領域で研究開発を行っている	1	2	3	4	5
社内の異なる研究領域の共同研究が積極的に行われている	1	2	3	4	5
研究開発の段階から生産、マーケティングなども視野に入れている	1	2	3	4	5
研究開発は個人の能力などに大きく依存する	1	2	3	4	5
技術の動向の見極め、目利きは特定の個人に依存している	1	2	3	4	5
比較的多くのテーマを設定し、途中で絞込む	1	2	3	4	5
特許を取得することに積極的である	1	2	3	4	5
特許などによるライセンス収入を重視している	1	2	3	4	5

Q3 貴社の製品や市場にはどのような特徴があるでしょうか？ 以下の項目それぞれについて、あてはまるところに○をつけてください。

	まったく そうでは ない	そうで はない	どちらとも いえない	そうで ある	まったく そうで ある
主要な製品は消費者向けである	1	2	3	4	5
技術での成功が極めて重要な製品である	1	2	3	4	5
イメージ、ブランドなどが重要な製品である	1	2	3	4	5
部品や素材だけでなく、生産などのノウハウが重要である	1	2	3	4	5
特許の取得や、それによる保護が重要な製品である	1	2	3	4	5
模倣や迂回特許などが容易な製品、プロセスである	1	2	3	4	5
技術面での競争が激しい	1	2	3	4	5
技術変化が激しい	1	2	3	4	5
研究者、技術者の移動が激しい	1	2	3	4	5
新しい技術を製品として投入してもすぐに価格が低下する	1	2	3	4	5
売上や利益を確保するには新製品の投入が必要である	1	2	3	4	5
多くの可能性を試さなければ最終解に至ることが難しい	1	2	3	4	5
研究開発には多大な費用が必要である	1	2	3	4	5
研究から実用化までには長い時間がかかる	1	2	3	4	5
売上げの成長率が高い	1	2	3	4	5
強力な競争相手がいる	1	2	3	4	5
法的な規制が強い	1	2	3	4	5
技術的に優れたベンチャー企業が多い	1	2	3	4	5
ベンチャーキャピタルを活用しやすい	1	2	3	4	5
その分野をリードしている大学がある	1	2	3	4	5
その分野で大学での研究は極めて重要である	1	2	3	4	5
子会社や取引先に優秀な研究開発能力をもった企業が多い	1	2	3	4	5

Q4 貴社の製品のユーザー企業や消費者はどのような状況でしょうか？ 以下の項目それぞれについて、当てはまるところに○をつけてください。

	まったく そう ではない	そうで はない	どちら ともい えない	そうで ある	まった くそう である
様々なニーズをもった消費者、ユーザーがいる	1	2	3	4	5
消費者の好みの変化が激しい	1	2	3	4	5
優れた知識を持つユーザーが多い	1	2	3	4	5
優れた技術をもつユーザーが多い	1	2	3	4	5
少数だが、極めて先進的なニーズをもつユーザーがいる	1	2	3	4	5
インターネット上でのユーザー間での交流が活発である	1	2	3	4	5
対面でのユーザー間での交流が活発である	1	2	3	4	5
ユーザーがカスタマイズすることが容易な製品である	1	2	3	4	5
ユーザーが開発したり、カスタマイズするための情報やツールは簡単に入手できる	1	2	3	4	5
ユーザーからの新しい技術、製品についての提案が多い	1	2	3	4	5
ユーザーが実際に新しい技術、製品を実現することがある	1	2	3	4	5

以下では貴社の研究開発についてお答え下さい。

Q5. 貴社の年間の研究開発費はどの位でしょうか？

- |           |             |
|-----------|-------------|
| 1 1 億円未満  | 5 100 億円未満  |
| 2 5 億円未満  | 6 500 億円未満  |
| 3 10 億円未満 | 7 1000 億円未満 |
| 4 50 億円未満 | 8 1000 億円以上 |

Q6. 貴社では年間、大小含めて何件ぐらいの研究テーマが進められていますか？

SQ そのうち、技術的に成功したもの、製品に結びついたもの、さらに市場で成功したものは何件程度でしょうか？

(いずれも、ここ 5 年間程度での平均をお答え下さい)

- |                   |   |      |
|-------------------|---|------|
| (1) 年間の研究テーマ数     | ( | 件程度) |
| (2) 技術的に開発が成功したもの | ( | 件程度) |
| (3) 製品化に結びついたもの   | ( | 件程度) |
| (4) 市場でも成功したもの    | ( | 件程度) |

Q7. 貴社では以下の研究をどれくらい行われていますか？それぞれについて、行われているものに○をつけてください(○は、それぞれいくつでも)。

	内部			外部		
	専門の研 究所が行 っている	各部署で行 っている。	必要に応じ て行うこと もある。	外部と連携 して行っ ている。	外部の成果 を購入、獲得 する	自社には 必要ない
基礎研究	1	2	3	4	5	6
応用研究	1	2	3	4	5	6
製品開発/設計	1	2	3	4	5	6
生産技術などの開発	1	2	3	4	5	6

Q8. 5年前と比べると、貴社の研究開発はどのように変化しましたか？以下のそれぞれについてお答え下さい。

	大幅に 減少	減少し た	変化なし	増加し た	大きく増 加した
社内使用研究開発費	1	2	3	4	5
外部支出研究開発費	1	2	3	4	5
研究開発要員の数	1	2	3	4	5
国内の研究拠点の数	1	2	3	4	5
国外での研究拠点の数	1	2	3	4	5
重点、重要テーマの数	1	2	3	4	5
技術面で成功したテーマの割合	1	2	3	4	5
製品化、市場投入に結びついたテーマの割合	1	2	3	4	5

Q9 貴社での研究開発はどのように行われているでしょうか？ 以下のそれぞれの項目について、貴社の状況にあてはまるところに○をつけて下さい。

	まったく そうで はない	そうで はない	どちらと もいえ ない	そうで ある	まったく そうで ある
全社的な経営戦略と研究開発の方向性は綿密に連携されている	1	2	3	4	5
基礎的な研究と応用、製品開発のための研究は綿密に連携されている	1	2	3	4	5
研究者、技術者が製品化のことまで視野に入れて研究を進めている	1	2	3	4	5
研究者、技術者が営業担当者や顧客と会うことがある	1	2	3	4	5
勤務時間に自由な研究をすることを認めている	1	2	3	4	5
勤務時間外に自由な研究をすることが認められている	1	2	3	4	5
過去に自社で行った研究、開発についての情報を参照できる仕組みがある	1	2	3	4	5
必要な知識、情報を社内で共有、問いかけることができるシステムがある	1	2	3	4	5
他の社員の研究や課題解決を支援することが奨励されている	1	2	3	4	5
研究者が研究成果を学会で発表することを促進している。	1	2	3	4	5
社内の様々な研究部門が共同して研究を進めることが多い	1	2	3	4	5
研究開発、生産、マーケティングなど、関連する部門からなるチームを編成する	1	2	3	4	5
研究開発とマーケティングの両方に通じている者が多い	1	2	3	4	5
リーダーは研究開発から製品の発売に至るまで責任と権限を持っている	1	2	3	4	5
リーダーは研究開発から製品の発売に至るまでの多様な分野の知識を持っている	1	2	3	4	5
研究開発の手順は明文化されている	1	2	3	4	5
研究開発の各段階で何をすべきか細かく決められている	1	2	3	4	5
研究開発の各段階で進捗状況をチェックしている	1	2	3	4	5
成果を評価し、テーマやプロジェクトの打ち切りも行う	1	2	3	4	5
開発の初期段階から生産計画も考慮する	1	2	3	4	5
開発の初期段階からマーケティングや販売計画も考慮する	1	2	3	4	5
開発中もじっくり考える時間は確保できる	1	2	3	4	5
開発の期限は厳格に管理される	1	2	3	4	5
研究開発の成果を論文の数など学術的見地から評価している	1	2	3	4	5
研究開発の成果を経済的な成果という見地から評価している	1	2	3	4	5
研究成果に応じて金銭的な報酬を与える制度が確立している	1	2	3	4	5
成功したプロジェクトメンバーはさらに重要なプロジェクトに配属される	1	2	3	4	5
研究開発プロジェクトそのものについても事後的なレビューを行い次の開発に活かす	1	2	3	4	5

Q10 貴社には下記のような制度が導入されていますか？導入されているものをすべてお選び下さい(○はいくつでも)。

- |                           |                              |
|---------------------------|------------------------------|
| 1. 技術ロードマップなどを利用した将来計画の立案 | 11. 研究者の表彰制度                 |
| 2. 研究開発、技術戦略の策定           | 12. リサーチフェローなど研究者の地位優遇制度     |
| 3. イン트라ネットでの情報交換や共有       | 13. 出願特許数などの目標数設定            |
| 4. 社内での技術交流会              | 14. 売上などに連動した職務発明への報酬制度      |
| 5. 研究分野の異なる領域での複合テーマの設定   | 15. 研究者への年俸制                 |
| 6. 自主的な研究テーマの設定           | 16. 外部技術の評価を行う部署             |
| 7. 研究テーマの社内公募制度           | 17. 裁量労働、フレックス制              |
| 8. 人材や配属の社内公募制度           | 18. 研究者、技術者へのマネジメントなどの教育、研修  |
| 9. 社内での起業制度               | 19. 研究者、技術者の経営や営業関連部門への配属、出向 |
| 10. 学会発表など学術的見地からの成果評価    | 20. プロジェクトの定量的評価             |
|                           | 21. これらは導入していない              |

以下では外部との研究についてお答え下さい。

Q11 貴社では外部と研究開発を行っていますか？以下から、行われている相手をすべて、お選び下さい(○はいくつでも)。

SQ それらの中でもっとも成果が挙げているものについて、◎をつけてください。

- |             |                      |
|-------------|----------------------|
| 1. 国内の大学    | 7. 子会社               |
| 2. 海外の大学    | 8. 親会社               |
| 3. 国公立の研究機関 | 9. 特許、ライセンスなどを購入する   |
| 4. 同業他社     | 10. 技術を持った企業を M&A する |
| 5. 顧客       | 11. その他(具体的に: )      |
| 6. 供給業者     | 12. 外部との共同研究は行わない    |

Q12 外部との研究開発について、貴社の状況をお答え下さい。

	まったく そうで はない	そうで はない	どちらと もいえ ない	そうで ある	まったく そうで ある
基礎開発から自社で行うことを重視している	1	2	3	4	5
他社の技術には頼らず、自社の技術にこだわる	1	2	3	4	5
他の企業からの技術的な提案を受け入れる制度が確立している	1	2	3	4	5
外部に自社の技術を積極的に提供する制度が確立している	1	2	3	4	5
外部の技術の動向を積極的にスキャンしている	1	2	3	4	5
外部技術の導入による自社の強みの喪失を危惧している	1	2	3	4	5
外部の技術をそのまま取り入れることが得意である	1	2	3	4	5
外部の技術を内部の技術と結びつけることが得意である	1	2	3	4	5
外部の個人、組織との共同研究、委託研究の成果を測定、評価している	1	2	3	4	5
外部の個人、組織と共同研究や委託研究を管理、進行する能力は高い	1	2	3	4	5
外部の個人、組織との共同研究や委託研究で問題が生じないように調整する能力が高い	1	2	3	4	5
外部技術の導入によって、研究開発のスピードが向上した	1	2	3	4	5
外部の技術を取り入れて革新的な製品ができるようになった	1	2	3	4	5
外部の技術を取り入れた製品が市場でも成功している	1	2	3	4	5
自社が他社に提供した技術によって革新的な製品ができるようになった	1	2	3	4	5
自社が提供した技術を取り入れた他社の製品が市場でも成功している	1	2	3	4	5
自社の特許などのライセンス収入が増加した	1	2	3	4	5
研究開発の効率は他社と比べて高い	1	2	3	4	5
研究開発が製品化へと結びついている	1	2	3	4	5

Q13 貴社では、外部にどのようにして自社の技術を提供したり、獲得していますか。下記の中から、貴社が行われているものをすべてお選び下さい(○はいくつでも)。

SQ それらの中でもっとも成果が挙げられているものについて、◎をつけてください。

- |                         |                               |
|-------------------------|-------------------------------|
| 1. 自社技術を表示した設備の設置       | 10. 顧客、ユーザーを招いた社内技術報告会/展覧会の開催 |
| 2. 顧客と共同で実験や設計が行える設備の設置 | 11. 自社ユーザー会の組織化や支援            |
| 3. 研究者や技術者による顧客への対応     | 12. 特許流通業者を利用した外部特許の探索        |
| 4. 大学や研究機関への研究員の派遣      | 13. 特許流通業者を利用した自社特許の外部提供      |
| 5. 同業種の交流会への出席          | 14. 外部の技術を探るための部署/人員の配置       |
| 6. 異業種の交流会への出席          | 15. 外部に技術を提供するための部署/人員の配置     |
| 7. 自社技術の学会報告            | 16. その他(具体的に: )               |
| 8. 技術情報などの広報誌の発行        | 17. これらは行っていない                |
| 9. 知財報告書の発行             |                               |

以下では海外での研究開発についてお答え下さい。

Q14 貴社は海外で研究開発を行っていますか？

1. 行っていない → Q17 へ

2. 行っている ↓ SQ へ

SQ 研究開発が行われている国、地域すべてをお選び下さい。

- |          |                 |
|----------|-----------------|
| 1. 米国    | 10. 中国          |
| 2. カナダ   | 11. 香港          |
| 3. ドイツ   | 12. 台湾          |
| 4. 英国    | 13. 韓国          |
| 5. フランス  | 14. 東南アジア       |
| 6. その他西欧 | 15. ロシア         |
| 7. 東欧    | 16. 中近東         |
| 8. ブラジル  | 17. アフリカ        |
| 9. その他南米 | 18. その他(具体的に: ) |

Q15 海外での研究の目的は何でしょうか？ 以下のそれぞれの項目について、あてはまるものをお答え下さい。

	ほとんどの拠点 にあてはまる	あてはまる拠点 もある	ほとんどの拠点 では目的として いない
研究、技術動向についての情報収集	3	2	1
自社製品を現地市場に適合させるため	3	2	1
日本の技術の海外への移転	3	2	1
現地の技術の日本への移転	3	2	1
現地での新製品開発	3	2	1
研究開発	3	2	1
市場情報の収集	3	2	1

Q16 貴社の世界各地の研究開発拠点に関して、以下のそれぞれの項目について、あてはまるところに○を付けて下さい。

	まったく そうで はない	そうで はない	どちら ともい えない	そうで ある	まったく そうで ある
拠点間で研究分野の分担、棲み分けが行われている	1	2	3	4	5
各拠点間の研究の重複がないように本社が調整している	1	2	3	4	5
各拠点の研究員のほとんどは現地で採用している	1	2	3	4	5
各拠点のトップマネジメントは現地で採用している	1	2	3	4	5
各拠点では本社では不足している分野の研究を行っている	1	2	3	4	5
拠点間で知識や情報が共有されている	1	2	3	4	5
拠点間で必要な情報やノウハウを支援しあう仕組みがある	1	2	3	4	5
日本から海外拠点への技術情報の提供は充分に行われている	1	2	3	4	5
海外拠点から日本への技術情報の提供は充分に行われている	1	2	3	4	5
各拠点は、その国でトップクラスの研究機関と交流している	1	2	3	4	5
各拠点は、その国でトップクラスの企業と交流している	1	2	3	4	5
各拠点は、その国でトップクラスのユーザーと交流している	1	2	3	4	5
各拠点では特許が多く申請されている	1	2	3	4	5
各拠点では革新的な技術が開発されている	1	2	3	4	5
各拠点は各地域市場での革新的な製品の開発を可能にした	1	2	3	4	5
各拠点と日本でのシナジーによって革新的な製品が開発されるようになった	1	2	3	4	5
各拠点と日本でのシナジーによって効率的に研究開発が行われるようになった	1	2	3	4	5

以下では貴社での AI(人工知能)についての利用状況などについてお答え下さい。なお、近年話題の生成 AI は、その名の通り、テキスト、画像、音楽などを生成するのに対し、既存の AI は、パラメータの最適化などに限定されたものとします。

Q17 貴社全体もしくは研究開発部門での(生成)AI の利用状況などについてお答えください。

	まった くそう ではな い	そうで はない	どちら ともい えない	そうで ある	まったく そうで ある
生成 AI 以前から複数を提示する CAD/CAE システムを活用してきた。	1	2	3	4	5
生成 AI 以前からデータ分析、予測などのため AI を活用してきた。	1	2	3	4	5
全社的な(生成)AI の利用方針、ガイドラインが策定されている。	1	2	3	4	5
(生成)AI の利用は個人に任されている。	1	2	3	4	5
利用に伴う自社の機密情報の漏洩に警戒している。	1	2	3	4	5
利用に伴う他社の権利侵害の可能性を警戒している。	1	2	3	4	5
生成 AI からの出力の信頼性に疑問がある。	1	2	3	4	5
外部業者の生成 AI システムを利用している。	1	2	3	4	5
自社独自の生成 AI システムを構築、運用している。	1	2	3	4	5
(生成)AI を文書、資料作成、翻訳などの業務で利用している。	1	2	3	4	5
(生成)AI を研究開発関連の文献、特許調査(検索、要約、関連付け) で利用している。	1	2	3	4	5
(生成)AI を研究開発の内容、方針決定の補助(重点分野、テーマ設定、解決策など)に利用している。	1	2	3	4	5
(生成)AI を研究開発課題の具体的な解決策の探索、提案に利用している。	1	2	3	4	5
(生成)AI を実験計画、データ整理、データ分析、プログラミングに利用している。	1	2	3	4	5
(生成)AI の利用によって日常の業務が効率化された。	1	2	3	4	5
(生成)AI の利用によって、独自性の高い研究成果が得られるようになった。	1	2	3	4	5
(生成)AI の利用によって、製品化につながりやすい研究成果が得られるようになった。	1	2	3	4	5

以下では貴社全体についてお答え下さい。

Q18 以下のそれぞれの項目について、他社と比べた貴社の状況を行え下さい。

	まったく そうで はない	そうで はない	どちらと もいえ ない	そうで ある	まったく そうで ある
技術や研究開発で市場をリードしている	1	2	3	4	5
他社にはない革新的な技術を持っている	1	2	3	4	5
他社と比べて特許の数は多い	1	2	3	4	5
他社と比べて研究開発の成功率が高い	1	2	3	4	5
技術環境が変化したとき、柔軟に適應できる	1	2	3	4	5
他社と比べてシェアは高い	1	2	3	4	5
他社と比べて利益率は高い	1	2	3	4	5
他社と比べて製品の品質、機能は高い	1	2	3	4	5
他社と比べて生産プロセスが優れている	1	2	3	4	5
他社と比べると流通チャネルは充実している	1	2	3	4	5
他社と比べて物流、ロジスティクスは充実している	1	2	3	4	5
他社と比べるとブランドイメージは高い	1	2	3	4	5
他社と比べると顧客満足度は高い	1	2	3	4	5
他社と比べて新製品の開発スピードは速い	1	2	3	4	5
他社と比べて新製品を早く発売する	1	2	3	4	5
他社と比べて革新的な機能、性能をもつ製品が多い	1	2	3	4	5
他社と比べて新しい用途の提案という面で市場をリードしている	1	2	3	4	5
他社と比べて新製品の成功率は高い	1	2	3	4	5

Q19 貴社全般について、以下の項目それぞれについてあてはまる所に○をつけてください。

	まったく そうでは ない	そうで はない	どちらと もいえな い	そうで ある	まったく そうで ある
失敗をおそれない社風である	1	2	3	4	5
失敗しても再挑戦できる雰囲気である	1	2	3	4	5
製品、価格、広告など一貫性のあるマーケティングを行っている	1	2	3	4	5
顧客や取引先からの提案や苦情について、人や部門によって対応が異なる傾向がある	1	2	3	4	5
トップが変わっても変わらない経営や行動の原則がある。	1	2	3	4	5
経営の方向性をトップが明確に示している	1	2	3	4	5
社員のスキルを長期的に育成している	1	2	3	4	5
個人の主体性が重視されている	1	2	3	4	5
組織の調和、コンセンサスが重視されている	1	2	3	4	5
貴社は顧客や取引先から信頼されている	1	2	3	4	5
貴社は顧客や取引先からも公正な企業だと評価されている	1	2	3	4	5
社員は貴社の社員であることに誇りを持っている	1	2	3	4	5
貴社は社会からも尊敬されている	1	2	3	4	5
貴社の技術、研究開発能力は学会などからも高く評価されている	1	2	3	4	5
貴社には技術、研究開発能力を高く評価されている研究者、技術者が多い	1	2	3	4	5

Q20 最終報告書は今年度末にまとめる予定です。ご希望の方には、その概要をメールアドレスに送付させていただきます。報告書の送付を希望されますか？

1.希望しない。

2.希望する。→(メールアドレス )

以上でアンケートは終わりです。記入ミスや回答漏れがないか、もう一度ご確認の上、同封した封筒にて 2026 年 1 月 16 日までに返送下さるようお願いいたします。

お忙しいところ誠にありがとうございました。